

---

# 白い部屋での心理実験

南波航助

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

白い部屋での心理実験

### 【Nコード】

N3348D

### 【作者名】

南波航助

### 【あらすじ】

人間は思いこみで、誤解してしまう。そんな二つの話を描きました。

「お願いだ、許してくれ」

「何を？」

「頼む、許してくれ」

「だから何を？」

「すまなかった」

「はあ？」

「許してくれ」

あまりにもしつこいからそいつをぶん殴った。

「痛い………これで許してくれる？」

「お前が俺に何をしたんだ！」

「すまなかった」

「だからさあ」

「俺はあんたを、殺しちゃった」

「なにいつてんだよ」

「その後俺も死んで」

「冗談よせよ」

「俺ら、幽霊なんだよ。この部屋真っ白だろ！」

「嘘だ」

「ホントだよ。覚えてないのかい。俺があんたを包丁でひとつき・

・……」

「まさかあ」

「まあいいさあ。俺らは死んだんだ。目を覚ますことはない」

「ふざけんなよ」

「ふざけてないよ」

「うわああああ………」

男は倒れ込んだ。

「はい、心理実験終了！お疲れ」

「どうもッス」

男は倒れ込んだままだ。

「ホントに、人って思いこみで死んじゃうんですね」

「そうらしいなあ」

「今回の死刑囚を利用した実験、良いデータが取れるな」

「そうですね」

「ここはどこだ？」

「あなたは、神様です」

「え？」

「あなたは神様です」

一人の美女が一人の男に言った。

「まさか」

「本当です」

「嘘だ」

「本当なんです」

「証拠は？」

「あなたの力で何でも出来ます」

ここは白い部屋。

「ほら、このモニターを見て。これは東京のとある駅の監視モニターです」

「それは分かるよ」

「そこに座っている人に、「死ね」って念じてみなさい」

「分かった」

男は必死に念じた。

すると、座っている男は突然倒れ込んだ。

「すごい、すごい」

「どうです？あなたは神様なんですよ」

「そうか、僕は神だ！僕は神なんだ！」

「はい、実験終了」

「すごいですね。記憶を一回無くして、思いこませると」

「そうだ、自分を神だと思ってしまっ」

「心理はすばらしいものだ」

「はい」

(後書き)

思いこみは、すごいです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3348d/>

---

白い部屋での心理実験

2010年12月9日04時58分発行